

2013 年度入学試験問題

209

経済学部A方式I日程・社会学部A方式I日程・現代福祉学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60分)

科目	ページ	科目	ページ
政治・経済	2～16	日本史	18～30
世界史	32～41	地理	42～48
数学	50～51		

<注意事項>

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験開始後の科目の変更は認めない。
4. 数学は以下の注意事項に従うこと。
 - ・ 解答用紙の所定の欄に受験学部を○で囲むこと。
 - ・ 解答を導く途中経過も書くこと。
 - ・ 解答はおもて面に記入すること(裏面は採点の対象にならない)。
 - ・ その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。
 - ・ 定規, コンパス, 電卓の使用は認めない。

マークシート解答方法についての注意

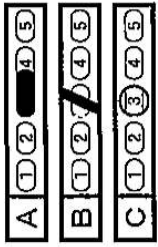
マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆, ボールペン, シヤープペンシルなどを使用しないこと)。

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかまさないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり, 折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(世界史)

〔I〕 つぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。

西暦30年ごろ、ナザレのイエスは、ユダヤ教の支配層である祭司や律法遵守を主張する [1] 派が、信仰を形式的なものにしたと批判し、神の愛や隣人愛、神の国の到来に近いことを説いた。これに対しユダヤ教の支配層は、イエスの教えはローマ帝国への反逆であると、ユダヤ総督の [2] に訴えた。その結果、イエスは捕えられ、十字架にかけられて処刑された。しかし彼の死後、イエスが復活し、「神の子」として天に昇ったとの信仰が生まれ、キリスト教が成立した。

イエスの使徒たちは、ローマ帝国各地に布教を始めた。特に [3] は、ユダヤ人以外の異邦人への伝道を積極的にを行い「異邦人の使徒」とも呼ばれた。次第にキリスト教は東地中海地方の都市を中心に信者を拡大していった。しかし当時のローマは多神教世界であり、ローマを守護してきた伝統的な神々に捧げる公式な祭儀は重要な宗教学事であった。一神教のキリスト教徒はそのような祭儀に参加せず、そのためしばしば迫害の対象となった。303年には、 [4] 帝が大迫害を行った。しかしその頃には、キリスト教は帝国の東方を中心に拡大していた。そこで313年、 [5] 帝は、 [6] 勅令を出し、ついにキリスト教を公認した。その後も、361年に即位した [7] 帝により、キリスト教を弾圧するなどの動きはあったが、他の皇帝たちは、逆にキリスト教を保護し皇帝権の強化に利用した。そして392年には [8] 帝が、キリスト教以外の異教信仰を禁止し、キリスト教は国教となった。

キリスト教の教義に関しては、イエスの言行を記述した福音書と使徒の伝道の記述や書簡などから編纂された新約聖書があるが、その解釈をめぐってはしばしば論争が起きた。そこで教義の正統な解釈をめぐって公会議が開催された。

325年の [9] 公会議は、 [5] 帝が召集したもので、父なる神と子なるキリストの関係をめぐって論争がなされた。この会議では、イエス=キリストは、父なる神によってつくられたとして人性を強く認めた [10] 派が異端

とされ、神とキリストは同一本質であるとした [11] 派が正統であるとされた。 [10] 派は、その後、北方のゲルマン人の中に広まっていた。

431年の [12] 公会議では、キリストにおける神性と人性の独立性を強調する [13] 派が異端とされた。 [13] 派は、その後、ササン朝を中心に東方に広まり、中国では [14] の時代に、ペルシア人によって伝えられ、 [15] と呼ばれた。

451年の [16] 公会議では、受肉後のキリストに神性のみを認める単性論が異端とされた。単性論派は、その後、エジプトやエチオピアの [17] 王国で [18] 教会として広まった。

また教父による著作活動も、教会の権威と教義の正統性を確立するために貢献した。代表的なものとしては、皇帝は地上における神の代理人とする神龍帝理念を打ち出した [19] が書いた『教会史』や、中世スコラ哲学に多大な影響をもたらした [20] の『神の国』などがある。

このようにしてキリスト教は、ローマ帝国を基盤にしながら、その影響力を確立したのである。

問1 空欄 [1] ~ [20] に入るもつとも適切な語句を下記の語群のな

かからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

あ	アウグスティヌス	い	アクスム	う	アタナシウス
え	アリウス	お	アンテイオキア	か	エウセビオス
き	エッセネ	く	エフェソス	け	回教
こ	カネム=ボルヌー	さ	カラカラ	し	カルケドン
す	景教	せ	祓教	そ	コプト
た	コンスタンティヌス	ち	サドカイ	つ	隋
て	ディオクレティアヌス	と	テオドシウス	な	唐
に	ニケーア	ぬ	ネストリウス	ね	ネロ
の	パウロ	は	パリサイ	ひ	ピラトウス
ふ	ペテロ	へ	ミラノ	ほ	ユリアヌス
ま	ヨハネ	み	ラテラノ	む	リウイウス
め	ローマ				

問2 下線部(1)のユダヤ教の成立には、ユダ王国が新バビロニアに征服され、住民の多くがバビロンに約50年間つれさらされた後、解放されたという経験が大きな影響を与えている。新バビロニアを滅ぼし、バビロンのユダヤ人を結果として解放した王は誰か。下記の語群のなかから適切なものをも一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- あ アレクサンドロス大王 い カンピセス2世 う キュロス2世
え ダレイオス1世 お ネブカドネザル2世

問3 下線部(2)の新約聖書は、どの言語によって書かれたか。下記の語群のなかから適切なものをも一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- あ アラム語 い ギリシア語のクオイネー
う ヘブライ語 え ラテン語

〔Ⅱ〕 つぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。

インドは、民族、言語、さらに宗教にいたるまできわめて特異な多様性をもつ国である。その多様性ゆえか、歴史的に統一政権と呼ばれるものは比較的少なく、逆に地方的な政権が多数興亡してきた。さらに、しばしば他からの侵入者が征服王朝を成立させたり、地方的な独立政権を構成したりするなど、征服と分裂がくり返されてきた歴史でもあるといえる。そのようなインドで、17世紀後半、史上最大の版図を実現したのが [1] 帝国である。

[1] 帝国の創始者 [A] は、ティムールの子孫で [2] を拠点に、しばしばインダス川流域に遠征をくり返し、ティムール帝国の再興を目指していた。1526年、 [A] の率いる軍隊は [3] において [B] 朝に勝利し、 [1] 帝国を建設した。第3代皇帝 [C] は首都を [4] に移し、寛容と融和の政策を実施して宗教と民族を異にする人びとの共生を保障し、帝国の土台をきづいた。具体的には、文武の官僚にヒンドゥー教徒の王や豪族を積極的に登用し支配階層の組織化をはかった。また、すべての官僚を等級で序列づけ、それぞれの等級に応じた給与と保持すべき騎兵や騎馬の数を定める [A] 制を導入し制度的枠組を確立した。

他方、この時代はインドとイスラームの宗教や文化の融合をはかる動きがさかんになった。 [D] は、宗教の相違を越えて神に一途に帰依し、カーストや聖典の権威を否定する新たな信仰を打ち立てた。さらにはデリー＝スルタン朝以降、インド固有の文化とイスラーム文化が融合してできたインド＝イスラーム文化が成熟し、第5代皇帝 [E] が造営した廟はインド＝イスラーム建築の最高傑作とされている。

[1] 帝国が最大の版図を実現したのは、第6代皇帝の [F] の時代である。彼は敬虔なムスリムで質素な生活を実践する一方、ヒンドゥー教を弾圧し、非ムスリムに課せられる [イ] を復活させ、イスラーム国家の建設をめざした。治世の後半には大々的にデカン征服に乗り出し、帝国の支配領域を拡大、最大領土を現出させたのである。しかしながらこうした政策は、ヒンドゥーとムスリムとの共生に亀裂を入れるものとなり、人々はムスリム王権に対する信頼を

失い、さらには帝国の役人や軍人による収奪や抑圧への抵抗が 帝国への反乱へと拡大していった。

18世紀初めに が死去すると、各地では独立政権が強くなって分裂状態となった。東インド会社を設立して互いに商業活動を拡大していたイギリス、フランスの争いはこれら諸侯の分裂の分裂を利用して互いに数次にわたる戦争へと展開していった。これらの戦争には、オーストリア継承戦争や七年戦争と絡んで 地方において在地勢力を巻き込みながら行われたもの、1757年に東インド会社の傭兵軍をひきいた がベンガル地方政権とフランスの連合軍を破った の戦いなどがある。イギリスは、各地の独立政権を軍事的に屈服させ、19世紀前半までにほぼ全インドを植民地とした。⁽¹⁾

東インド会社は、徴税権をにぎり、地租納入者を確保するために、近代的な土地所有制を導入した。それには、領主的階層に土地所有権を認め、政府と農民との仲介人として納税責任を負わせる 制や、個々の農民に土地保有権を認め、彼らから直接徴税する 制などがある。イギリスにおける産業革命の進展は、手織りの綿織業に破滅的な打撃を与え、都市の人口は激減し、かわって、綿花、アヘン、茶などの輸出用農作物の栽培がなれば強制されていった。1857年、イギリス支配に不満を持っていた は 近郊で蜂起し、名目だけの存在となっていた 皇帝を擁立したが、イギリスの軍事的立て直しによって次第に鎮圧されていった。皇帝は逮捕されて流刑となり、ここに 帝国が名実ともに滅亡し、イギリスは東インド会社を通じたインド統治を廃し、直接統治をはじめたのである。

問1 空欄 ～ に入るもつとも適切な語句を下記の語群のな

かからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

あ	アグラ	い	カーナティック	う	カーブル
え	カルカッタ	お	ゴア	か	シャンデルナゴル
き	シンド	く	デリー	け	パーニーバット
こ	プラッシー	さ	ボンベイ	し	ムガル

問2 空欄 ～ に入るもつとも適切な語句を下記の語群のなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | | |
|---|----------|---|---------|---|------------|
| あ | アウラングゼーブ | い | アクバル | う | カビール |
| え | クライヴ | お | コルベール | か | シャール＝ジャハーン |
| き | ジャハーンギール | く | デュプレクス | け | ナーナク |
| こ | バーブル | さ | フマール＝ユン | し | ムムターズ＝マハル |
| す | ロディール | | | | |

問3 空欄 ～ に入るもつとも適切な語句を下記の語群のなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|---|----------|---|---------|
| あ | ザミンダーリー | い | シヴァージー |
| う | ジズヤ | え | シバーヒー |
| お | ジャーンギール | か | ディーワーニー |
| き | マンサブダール | く | ライヤット |
| け | ライヤットワリー | | |

問4 下線部(1)に関連する以下の文章を読み、空欄 ～ に入るもつとも適切な語句を下記の語群のなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

1. 王国は、17世紀半ば、デカン高原西部のマハーラーシュトラ地方を主な居住地として、バクティを信仰する農民出身の軍事的指導者が建国、発展したが、数度にわたるイギリスとの戦争で敗北した。
2. 王国は、19世紀初頭に西北部のパンジャブ地方に建国され、都をラホールとした。マハーラーシュトラ地方の勢力が敗北後、イギリスに対抗する最大の勢力となった。
3. ヴィジヤナガルが衰退するなかで建国・発展した南部の 王国は、18世紀半ばにイスラム勢力に圧迫されて、18世紀後半、4回にわたって行われた戦争に敗れ、イギリスの支配下におかれた。

- | | | | |
|---|-------|---|--------|
| あ | シク | い | マイソール |
| う | マラーター | え | ラージプット |

〔Ⅲ〕 つぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。

地中海は、南は北アフリカ、北はヨーロッパからアナトリア地方(小アジア)に接し、西はジブラルタル海峡(幅わずかに14km)を通じて大西洋に接し、東はレヴァント地方におよぶ、およそ250万平方キロ(日本の面積の7倍近い)に達する広大な中海である。

前3000年頃から前1200年頃、ギリシアと小アジアに囲まれた海域を中心に [1] 器を主体とした [2] が栄えた。この海域に浮かぶ [A] 島には複雑な構造をもった建築物が残っている。そうした構造の建物は、迷路とは異なり、分岐のない一本筋の興味深い紋様をなしている。この島の中央部に位置する [B] には同じように秩序だった緻密な設計の壮大な王宮があり、これはその紋章からラピリンス(迷宮の意)の語源とされているという。この王宮はイギリスの学者 [3] によって発掘された。この文明を生み出した人々は、かつては象形文字(絵文字)を用いていたようだが、後にこの絵文字は線で書かれた線文字Aと呼ばれるものに発展した。彼らが用いていた象形文字や線文字はいまのところは、まだ解読されていない。

一方、ギリシア本土には前2000年ころ、北方から移動してきたとされるアカイア人がペロポネソス半島北東部の [C] を中心に、 [1] 器文明を築いていた。これはドイツの学者 [4] らによって発掘された。この文明を築いた人々は [C] にライオン像を彫り込んだ獅子門のある王宮を建て、 [C] の南に位置する [D] や南西に位置するピュロスには堅固な巨石城壁をもつ王宮をたてていた。かれらも線文字を残しており、これは線文字Bとして、1950年代初めイギリスの建築家 [5] らによって解読された。この解読により、これらの小王国の政治・経済・生活の一端が知られるようになった。かれらの勢力は海を越えた小アジアのトロイアにまで及んでいた。

前1200年ころ、 [C] を中心とした小国家は何らかの勢力によって破壊され、その後ギリシアは400年近くの暗黒時代と呼ばれる混乱した時代に入ったという。破壊の原因はさまざま推測されているが、同じ頃、東地中海の小アジアからシリアを攻撃し、エジプトをも襲った系統不明とされる [6] による破

壤によるものとも考えられている。この間に、ギリシアは [1] 器時代から [7] 器時代に移行していった。そして、前8世紀から前6世紀にかけて、ギリシア人は再び活動を活発化させ、地中海各地にシラクサやマッサリアといった植民市を建設していった。

地中海に面するエジプトでは、ナイル川がもたらした沃土のおかげで灌漑農業が行なわれ、はやくから [8] と言われる独立的部族集落が形成された。 [8] はナイル川中流域の上エジプトに22, ナイル川下流のデルタ地帯の下エジプトに20が成立したと言われる。前3000年ころ、エジプトには「大きな家」を意味するファラオ(王)による統一国家が形成された。これ以降、約30の王朝が交替したが、古王国・中王国・新王国の三つの時代にわたる支配が続いた。古王国の時代、ナイルデルタ地帯の [E] に都がおかれた。エジプトを代表する巨大建築物ピラミッドが盛んに建設されたのは古王国の時代で、第4王朝時代には

[9] 王が自らの墓の為と思われる最大のピラミッドを建造した。中王国時代には、都はナイル川中流域の [F] におかれたが、 [10] と呼ばれるアジア系の遊牧民の侵入を受け、王国は一時滅亡した。この [10] にはシリア・パレスティナの人々も含まれていたと考えられているが、詳しいことはわかっていない。しかし、当時の史料はアジア系の遊牧民の支配は比較的緩やかであったが、エジプトの王たちは外部による支配からの脱却を目指したことを示しているという。新王国時代には、侵入者の支配を追放して、再び [F] などに都がおかれたが、前14世紀には [11] が [G] に都をさだめ、多神教にかわってひとつの神を信仰する宗教改革をおこなった。

東地中海では前1500年ころからセム系の [12] 人が交易をおこなっていた。その後、セム語系の3民族であるアラム人、フェニキア人、ヘブライ人が活動したが、かれらの活動域は、シリア・パレスティナの海と山脈に挟まれた地域であった。中でもフェニキア人はシドンやティルスなどの都市国家を母市(拠点)として、高度な造船・航海術を活かして地中海で旺盛な交易を行った。フェニキアという呼び名は彼らがミュレックス(アウクキ貝)と呼ばれる貝から取った紫色の染料を用いていたことから、紫色(または「緋色」という意味のギリシア語を語源とするとも言われている。彼らは、カルタゴのような植民市を地中海東部から大西

洋岸にまで数多く建設したばかりか、エジプトの象形文字を発展させたとされる表音文字から22の子音で構成されるフェニキア文字をつくった。この文字はかれらの交易活動にともなつて、地中海の各地に伝わり、ギリシアの人々にも受け入れられ、ギリシアのアルファベットを形成した。

問1 空欄 ～ に入るもつとも適切な語句を下記の語群のな

かからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

あ	アイノリス人	い	アメンホテプ4世	う	ヴェントリス
え	「海の民」	お	エヴァンズ	か	エーゲ文明
き	カナーン	く	クフ	け	シヤンポリオン
こ	シュリーマン	さ	青銅	し	ツタンカーメン
す	鉄	せ	ドーリア人	そ	トトメス3世
た	ノモス	ち	ヒクソス	つ	ヘブライ
て	メンカウラー	と	ラムセス2世		

問2 空欄 ～ に入るもつとも適切な語句を下記の語群のな

かからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

あ	ギザ	い	クノッソス	う	クレタ
え	シナイ	お	テイリンス	か	テーベ
き	テル＝エル＝アマルナ	く	デルファイ		
け	デロス	こ	ナウクラティス	さ	ペルガモン
し	ミケーネ	す	メンフィス	せ	ロゼッタ

問3 次の地図の地点ア～キが示す地名を下記の語群のなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | | | | |
|---|------|---|------|---|-------|---|-------|
| あ | カルタゴ | い | シドン | う | シラクサ | え | ダマスクス |
| お | テイルス | か | トロイア | き | マッサリア | | |

